

## 「やっぱり英語をしゃべりたい！」

先月に続いて外国語についての「独り言」です。近年の器械による翻訳技術の発達は素晴らしく、しゃべった日本語が即時に訳出され、また相手の外国語もすぐに日本語として帰ってきます。観光旅行では“必携の道具”みたい。ではもう英語（他の外国語も）を勉強しなくても大丈夫なのでしょうか。

そんなことはあり得ませんよね。現実に文科省は子供たちの英語力を高めようと今、必死に方策を打ち出しているし、ビジネスの現場でも語学に堪能な人の需要はますます高まっています。

どんなに進歩しても器械はしょせん器械。私もネットでの宣伝につられ「本格翻訳ソフト」を購入してみました。けっこう間違いがあり<こちらの意図する訳でない>人力の訳には及びません。進歩しても限界があるのはやむを得ないでしょう。

まだ中学・高校生だったころ先生から「将来的には世界共通語としてエスペラント語が使われるようになる！」と聞かされたことがあります。でも先ごろ、「おもてなしボランティア」研修会で、NHKの人気英語講師の大杉正明氏が言っていました。

「かつてはエスペラントに期待がかかっていました。でも現在、エスペラントをできるのは世界でたった30万人だけなのです。一方で、ヨーロッパなどではドイツ語、スペイン語、フランス語、デンマーク語などが母国語の人々も、ビジネスでは英語を共通語として使う流れになってきています」「英語の需要はますます増えてくるでしょうから皆さん頑張ってくださいね」と——英語に取り組んでいる皆さん！自信と期待を持ってください。



ところで英語の勉強と言えば、私も深く共感した女性漫画家の言葉をご紹介します。それは「オヤジギャル」などの流行語を生んだ故中尊寺ゆつこさんです。元カーター米大統領との会見など、有能な英語の使い手でもあった彼女は「やっぱり英語をしゃべりたい！——英語負け組からの華麗なる脱出法——」との本を書いています。

ユニークな持論とストレートな物言い。著書にはお得意の楽しいイラストも描かれています。この人気書を回し読みされている間にどこかに消えてしまいました。そこでイラストは彼女の他の作品から。文は私の「読書メモ」からの転記です。

- 誤解のないように言っておくと、英語ができるからエライという法則なんて世界中どこにもないし、そのくらいでエバる人なんてバカげている。だけど人がどう見るかではなく、本人的にどっちが人生おもしろいかと考えたい。だから今なんとか英語を頑張りましょうよ。
- 英語ができれば人生は2倍以上に楽しい。英語は簡単なんかじゃない！だからこそ！
- 英語の勉強・・・現実はそんなに甘いものではなく「カンタンすら系」の本を大量に買い込んで積んでおくだけ。一生、英語ワールドに憧れて終わり。そんな人たちの話



をよく聞きます。

- 逆に言えば、やったもん勝ちで、だれでもやればなんとかなる。でも、ちゃんとやれる人は少ない。だからこそ価値がある。語学に王道はない。地味なこときわまりない。
- 「英語をラクして覚えよう」というのがそもそもの間違い。そんなに簡単だったら、しゃべれる人だらけでしょう。この「英語のカベ」を乗り越えた人のみが・・・英語の最初のカベを乗り越えられないから、憧れたり、未知の世界で終わっている。
- 初級者が文法をたたき込まれるのにネイティブに習う必要はない。むしろ日本人の方が・・・
- 長く外国に住んでいてもしゃべれない人っていっぱいいる。日本人社会だけにいるとか、自分で勉強しないと無理。
- たった一人で短い例文をたくさん覚える。本を丸ごと覚える。全部声に出して言う。ただそれだけです。孤独な作業です。
- 発音が悪くても、語彙が少なくても、教科書みたいな英語でも、文法さえ完璧なら、少なくとも「ある程度は教育を受けた人」と捉えられる。
- 一応、英語をマスター、しゃべれる組まで到達する人は「英会話」の本を過去に1冊でも買った全ての人の中で、100人に1人だと思う。だから「英語がしゃべれる」希少グループに入ろう。
- 英語は一つの技術。でも、大卒にも勝る教養になるかもしれないので「やったもん勝ち」です。
- 中級くらいまでは石にかじりついてでもやること。初級レベルでやめるのが一番危険で「英語負け組」になってコンプレックスはさらに増大します。
- 英語の勉強って、気取ってやってなんかいられない。勉強というより一種の修業。ある程度「恥知らず」にならないと上達しない。



ちなみに、NHKの語学講座のテキストの販売部数は、4月を頂点としてずっと下り坂になるといいます。「語学は努力と根気以外の何物でもない」が私の持論です。その努力の先に大きく楽しい世界が開かれてきます。私自身も、先月から始まった東京都観光ボランティアとして新宿駅での活動で、いろんな新しい世界が展開され楽しんでいます。外国語を勉強中の皆さん、一緒に頑張っていきましょう。

<更に語学学習について関心のある方は、このホームページの「私の語学習得体験」をご覧ください>